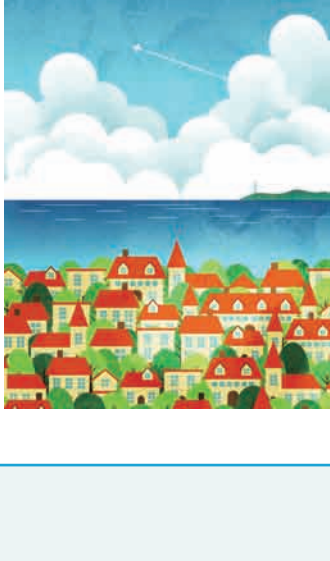


フランス、インドネシア、アメリカ、香港……
台桜幼稚園と海外の幼稚園をくらべてみた !!

台桜幼稚園は多様性に富んでいます。在園児の家庭が国際色豊かなこともその理由の一つです。仕事や家庭の事情で海外に転居する一家も珍しくありません。本記事では、両親またはパパかママのどちらかが外国から来た在園児と元園児の保護者に、母国の幼稚園や保育事情と台桜幼稚園を比較してもらいました。また、海外に引っ越して現地の幼稚園に子どもを通わせている元在園児ママにもインタビュー。さて、台桜幼稚園と外国の幼稚園には、どんな違いがあるのでしょうか。



担当：菅野・照井・アストルフォ

2007 年にフランスから来日した子煩悩パパ
5 人の子どもたちが台桜幼稚園を修了 !!

Q フランスの幼児教育について教えてください

A 幼稚園も義務教育。長期休暇が長い分、平日は子どもにも負担

フランスでは 3 歳から義務教育が始まり、“maternelle” に入園します。ここでは小学校入学準備のため読み書きを学んだり、日本の幼稚園と似た活動に取り組んだり。午後には昼寝の時間もあります。ほとんどの場合、幼稚園と小学校は同じ場所にあり、校庭も共有。教諭の資格は同一なので、先生たちは幼稚園か小学校のどちらを教えるか選択できます。長期休暇が非常に長いのも特徴です。9 月に新年度が始まると、7 週間ごとに 2 週間の休暇（10 月、12 月、2 月、4 月）が設けられています。さらに夏休みは 2 か月間。その分、普段の maternelle は一日が長時間となり、子どもも先生も大変疲れます。

Q 来日当初、日本での園生活になじむのに苦労しましたか？

A 日本語に苦労。「グーグル翻訳」の登場で助かった！

子どもたちはすぐになじみましたが、親は大変でした。当時は「グーグル翻訳」などなかったので、何が起きているのかほとんど分かりませんでした。

Q 台桜幼稚園に子どもを通わせてよかったと思うことは？

A 礼儀正しさと周囲への心配りを身に付け、親友にも出会えた

修了式のとき、当時の園長先生が「幼稚園で学ぶべき最も大切なことは『礼儀正しさ』だ」とおっしゃっていたのが、今でも心に残っています。周囲の人たちと力を合わせて共に生きていく上で、それは本当に欠かせないものだ、と、私自身も強く信じています。台桜幼稚園では、礼儀正しくあること、友だちや周囲に気を配ることを丁寧に指導しています。遊び心のある雰囲気の中で行われるので、子どもたちは自然とそれらを身に付けることができました。それに、上の子供たち二人の親友は、台桜幼稚園時代からの友人です。

Q 台桜幼稚園とフランスの園の大きな違いはどこなところ？

A 季節の行事や外出が多く、親も子も有意義に過ごせる

長男と長女は maternelle から台桜幼稚園に転園しました。両園を比較すると、台桜はフランスよりもリラックスした雰囲気。保護者は日々の活動に積極的に参加し、互いのことをよく知り良い関係を築いています。それが子どもたちや先生方を助けることにつながっています。フランスでは入園式や修了式、運動会などがなく、外出は年に数回のみ。一方、台桜は季節の行事を大切に、運動会、文化的なイベントも行われるほか、保護者が同行できる外出もそうでない外出もたびたびありました。

日本では、降園後に公園で遊んだり、習い事をする時間的な余裕もあり、親としても楽に感じました。

Q 入園を検討中の、特に外国人の保護者にメッセージを !!

A 積極的に楽しむ姿勢を大切に。おすすめできる素晴らしい環境

文化の違いすぎるため、外国人の親にとって日本人のようにするのはとても難しいことですが、起きていることに従って、その経験を楽しんでください。たとえ同意できないことや理解できないことであっても、後で意味がわかるようになるでしょう。

台桜幼稚園は子どもたちが活動を楽しみ、成長できる素晴らしい場所です。また、そのような場所になるよう、皆が気を配り細心の注意を払っています。

台桜幼稚園は谷中小学校の敷地内にあり、校庭やプール、体育館など小学校の施設を利用する機会がたくさんあります。谷中小学校と連携した活動も行われていて、小学生との交流もさかんです。

そのため、幼稚園にいながら小学校の雰囲気を知る

ことができ、入学準備をする上でも絶好の機会となります。



インドネシアから一家で日本へ来て 1 年超
周囲のサポートを得ながら慣れない環境にも順応

Q 入園時、日本語はどのくらい習得していましたか？

A 母は先に来日し 2 か月間学習。でも父は基本のあいさつのみ

私（母）は研究職をしており、仕事の都合で日本に来ることになりました。そのため、夫と息子よりも一足先にインドネシアを離れ、2 か月間日本語のレッスンを受けました。夫と息子は全く学習せずに来日したので、最初は「ありがとう」や「おはよう」「さようなら」といった基本的なあいさつしか知りませんでした。

Q 日本での園生活に慣れるのに苦労しましたか？

A 言葉の問題は不可避。通訳者や翻訳ツールの助けを借りて対処

日本語でのコミュニケーションは大変ですが、台東区や幼稚園のサポートで大変助かっています。インドネシア語を話せる人を幼稚園に派遣してくれたことも。彼は保護者会の通訳や息子の園生活についての報告をしてくれました。もちろん、翻訳ツールも活用しています。

Q 日本とインドネシアの幼稚園、どういう点が異なりますか？

A 日本はソフトとハード両面の標準レベルが高い

日本の幼稚園はプログラムも施設も学習支援ツールも非常に充実しています。日本国内には園による差はほとんどなく、標準的に充実しているのだと感じます。

一方、インドネシアで設備などが充実しているのは、高額な学費を支払う私立の幼稚園だけです。

Q インドネシアの園にも PTA のような組織はありましたか？

A 保護者組合はあっても、協働するような活動はなかった

保護者組合がありますが、活動はあまり積極的ではありません。年に 1、2 回の会合はあるものの、単に交流するのが目的です。そのため、保護者同士が情報を共有し、コミュニケーションを取るのには難しかったです。



毎週木曜日には、民族衣装を着用し伝統的なゲームをする

Q どんどころが台桜幼稚園の魅力だと感じますか？

A 心技体をバランスよく高める充実したカリキュラム

台桜幼稚園の特別な点は、バランスの取れたカリキュラムだと感じました。

たとえば、工作などの「スキル」や「クリエイティビティ」を高める活動、楽器演奏や歌唱といった「芸術的な取り組み」、スポーツや日常の縄跳び、鬼ごっこなど「身体を動かす活動」、獅子舞や提灯づくりなど「文化的な取り組み」などです。

これにより、息子はたくさんの「未知」に出会い、貴重な経験を得られました。

Q 入園を検討中の、特に外国人の保護者にメッセージを !!

A 台桜は柔軟性があり、先生方も熟練しているので安心です

慣れない言語での入園手続きに不安を感じていましたが、心配する必要はありませんでした。すべての手順は明確に書かれていましたし、区役所のサポート、園からの詳細な説明を受けられたので、困難を感じることなく順調に手続きを完了することができました。

先生方は「言葉の通じない環境で息子が不快に感じるかもしれない」と心配し、最初は半日だけ登園するよう勧めてくれました。しかし、実際には初日から快適に過ごせたようで、翌日から他の子どもたちと同じように通常のスケジュールで登園することが許可されたのです。

台桜幼稚園の先生方は、子どもたちを包み込むのに熟練していて、しかも非常に迅速です。息子が毎日快適に登園できたのはそのおかげだと信じています。



画像引用：https://larea.lit.com/ より



（左）クラスで一緒に学ぶ活動。（中央）学習成績のフィードバックは、保護者に対して毎学期行われる。（右）伝統舞踊を地域の芸術イベントで披露



（右）伝統舞踊を地域の芸術イベントで披露

2 人の子が元台桜。香港在住の
カナダ人パパと日本人ママ

Q 台桜幼稚園時代とくらべて大きく変わった点は？

A お手伝いさんを雇う家庭が多く、保護者同士のつながりは希薄

こちらは送迎をお手伝いさんが行うことがほとんどです。そのため、保護者間の付き合いはかなり薄く感じます。

Q 改めて感じる台桜幼稚園の魅力について教えてください

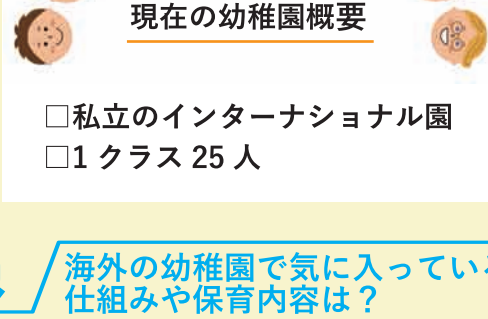
A 先生も保護者も子どもたちもみんなの心がつながっている

先生方の心のこもった教育とケア、子どもや保護者同士のつながりがあたたかいことです。

Q お子さんとの会話に出てくる台桜の楽しかった思い出は？

A 特別なことをした思い出でなく、なんでもない日々が宝もの

娘にとっては、園庭での砂場遊びや先生と一緒に歌ったことなど、なんでもない毎日の出来事が今も印象に残っているようです。



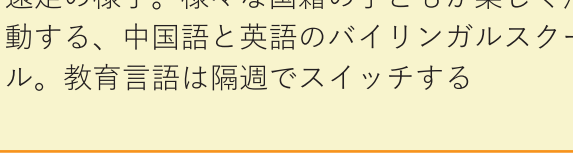
現在の幼稚園概要

- 私立のインターナショナル園
- 1 クラス 25 人

Q 海外の幼稚園で気に入っている仕組みや保育内容は？

A 自由度が高く、半日保育か全日保育か選択できる

幼稚園に預ける時間を半日にするか、全日にするか、保護者がそれぞれの事情で自由に選べるところです。



遠足の様子。様々な国籍の子どもが楽しく活動する、中国語と英語のバイリンガルスクール。教育言語は隔週でスイッチする

パパの仕事の都合で渡米し 1 年
現地校で奮闘する日本人一家

Q 日本とアメリカ、保育内容の違いを教えてください

A 年長になると小学生扱いで、毎日の座学に成績表まで !!

アメリカでは、年中相当まではプリスクール、年長からキンダーガーデン（幼稚園）に入ります。キンダーガーデンは通常小学校の校舎内にあり、小学生扱いとなります。保育時間は 8:00 ～ 14:00。そのうち 3 時間は座学で成績表も出ます。子どもたちの学習を担当するのが先生、という認識のため、先生たちにとって昼食は休憩時間。食事を生徒と共にすることはありません。子どもたちはカフェテリアで用務員の方々に見守られながら昼食を取ります。

Q 台桜幼稚園とくらべてどういう点が大きく異なりますか？

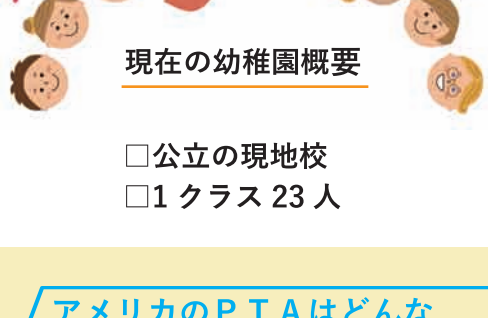
A 台桜のようなあたたかさはなく、勉強以外の成長が軽視されがち

先生と児童の関係性は台桜と大きく異なります。台桜は先生と子どもたち、そして子どもたち同士も園生活を通して絆を深める事ができているのが何よりの魅力だと思います。こちらの園は年間学習指導要領の密度が高いため、授業の進行を妨げる行いに対して先生は厳しい対応を取りがち。また、食事指導が皆無であること、先生に逆らった場合に各種罰則が適用されること、座学以外については軽視されがちであることは、5 歳児の教育として相応しいのか疑問に感じています。

Q お子さんとの会話に出てくる台桜の楽しかった思い出は？

A アメリカにはない日本の行事や自由に取り組んだ空き箱工作

季節の行事を思い出すことが多く、特に豆まきが印象的だったようです。空き箱などを利用した工作は自宅でもやっています。



現在の幼稚園概要

- 公立の現地校
- 1 クラス 23 人

Q アメリカの PTA はどんな活動をするのですか？

A 保護者に求められる役割は重要。金銭的にも時間的にも貢献

アメリカの学校は、日本と比較して割り当てられる公費が少ないようです。そのため、PTA は年間を通して様々なイベントを実施し、収益を確保して学校の内容を補完する費用を捻出しています。たとえば、遠足も PTA が全額を負担。「美術」の授業がないので、PTA が教材を提供し、研修を受けた有志保護者が美術の時間を各クラスで担当しています。

さらに PTA 活動とは別に、保護者は我が子のクラスを支援することが求められます。筆記用具を寄付するほか、年長児の座学は毎日 1 時間、保護者 2、3 名が授業の手伝い。ハロウィンやクリスマスパーティは保護者が担任の先生と話し合って内容を決め、10 名程度がボランティアとして参加するのです。

負担に感じることとはあるものの、授業を手伝いに行く子どもたちの様子がよく分かり、写真撮影のチャンスも豊富に。先生の保育方針や仕事の大変さをより一層理解できるようになりました。

Q 海外の幼稚園で気に入っている仕組みや保育内容は？

A 毎日のおやつ時間や使い勝手のよいアプリ、自由度の高い制服

おやつのあること、学校と保護者の連絡手段として使用されているアプリが使いやすいことはとてもいいです。制服の選択肢が豊富で、半ズボン、長ズボン、ワンピース、スカートなどから好きなものを選べることも気に入っています。